

三本柱
あいさつ
返 事
掃 除

六 華

教育目標
「自ら学び広い心で
心身を鍛える生徒」

生徒総会（5月12日）

今年度も全校生徒が一堂に会して生徒総会が開催されました。各学級での議案書審議を経て、これからの東石山中学校について、意見交換を行いました。生徒会のスローガンには、「新しいことに進んでチャレンジし、自分たちの手で東石山中学校を創っていく」という思いが込められています。生徒が「創造・実践・成長」できる学校を目標に生徒会活動を展開していきます。主な活動方針は以下の3つです。

令和7年度 生徒会スローガン

新 進 自 創

1 自ら考え、新しいことに挑戦

今年度のスローガンを基に、生徒会本部や各委員会が中心となって、新しい企画や活動に挑戦していきます。PDCAサイクルを意識し、各委員会の活動内容・改善点・次につながる具体策を考えられるように振り返り用紙を活用していきます。

2 生徒会アワー

生徒会アワーでは、各委員会の特別活動についてのお知らせ、連絡などを行います。iPadでアンケートや振り返りなどを配信し、結果を伝えます。この活動を通して、専門委員会の活動に対する意識を高め、学校生活の向上や特別活動、行事を活性化していきます。

3 特別活動の充実

全校生徒が興味をもつような企画を提案し、三本柱の意識の強化に取り組みます。誰とでも仲良く関わることができるような参加型企画を実践します。

生徒総会を終えての生徒の感想を紹介します。

生徒会副会長 3年2組 飯田 彩心

今年度は「新しいことに進んでチャレンジ」をキーワードに生徒会活動に取り組んでいくことを決めました。各専門委員長には、これまでの活動を踏襲するだけでなく、新たな取り組みにチャレンジしてほしいことを伝え、年間活動計画を作ってもらいました。どの委員会も議案書から活動意欲が伝わってくるものばかりでした。生徒総会当日、議事が全て終わった時に、「いよいよ今年度の新しい生徒会活動が始まるんだ」と実感がわいてきました。校長先生が仰っていた「失敗はない。できなかった経験ができた。」という言葉に胸に、より良い東石山中を創ってきたいです。



完歩大会 5月16日 25.6 kmウォーク

天候にも恵まれ、少し暑さも感じる中でしたが、生徒たちは、それぞれの目標と仲間からの励ましを受けながら、25.6 kmを力強く歩き切りました。



完歩大会の感想



1年1組 小倉 美織

私は中学校で初めての完歩大会をやりました。正直言うと結構大変だったし疲れました。第二チェックポイントに行く前に私は結構疲れていました。でも班のみんなが私のペースに合わせてくれたり、水筒を持ってくれたりなどしてくれて嬉しかったり少し申し訳ない気持ちもあったりしました。

あと、川沿いのところでは違う班の子と川沿いを歩いたり、東区役所前のところや学校まで一緒に歩いたりして嬉しかったです。一年生初めての完歩大会は大変だったけど個人的には楽しい思い出が作れたと思いました！

2年3組 中野 史翔

僕の目標は最初にゴールすることでした。しかし、歩いているうちにスピード差が出てしまい、早い人と遅れてしまう人が出てきました。最初は早く着きたいから遅い人が嫌だったけれど、みんなで励まし合って投げ出さない姿を見て考え方が変わりました。一番大事なのは、個人個人苦手なことや得意なことがあるけれどお互い尊重して、一つの目標に向かって協力することが大事だと学びました。最初にゴールできなかったけれど、それ以上に学ぶことがあって良かったです。これからの行事は、学んだことを生かして2年3組として頑張りたいです。



3年5組 戸松 莉王

中学校生活最後の完歩大会が終わりました。今回の完歩大会では、楽しく、協力して、全力で行うことができました。また、一年生の時と比べて圧倒的に成長したなどと思った場面が沢山ありました。例えば、完歩大会のボランティアをしてくださっている地域の方や保護者の方に、感謝を込めて挨拶をすることができました。三人行事である完歩大会は終わりましたが、残りの二つの行事を完歩大会で身につけたチームワークを活かして頑張りたいです。

PTA コーナー 令和7年度 PTA 総会・PTA 会長挨拶

5月9日（金）に行われたPTA総会では、慎重審議の結果、今年度の活動内容はすべて承認されました。また、5月31日（土）の環境整備作業は雨天のため中止となりましたが、別日にテニスコート周りの側溝を写真の通り整備しましたのでこの場でご報告します。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。



PTA 会長挨拶

本年度、PTA 会長を務めております、山岸直人と申します。日頃より、PTA 活動へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。PTA の活動は、子どもたちの安全で充実した学校生活を支えることを目的に、保護者と教職員が力を合わせて進めております。決して特別なことをしているわけではなく、「子どもたちの笑顔のために何ができるか」を皆で考え、できることを少しずつ形にしていく、そんな積み重ねの上に成り立っています。これからも、保護者の皆さまや先生方としっかりと連携しながら、子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりに努めてまいります。どうか今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。